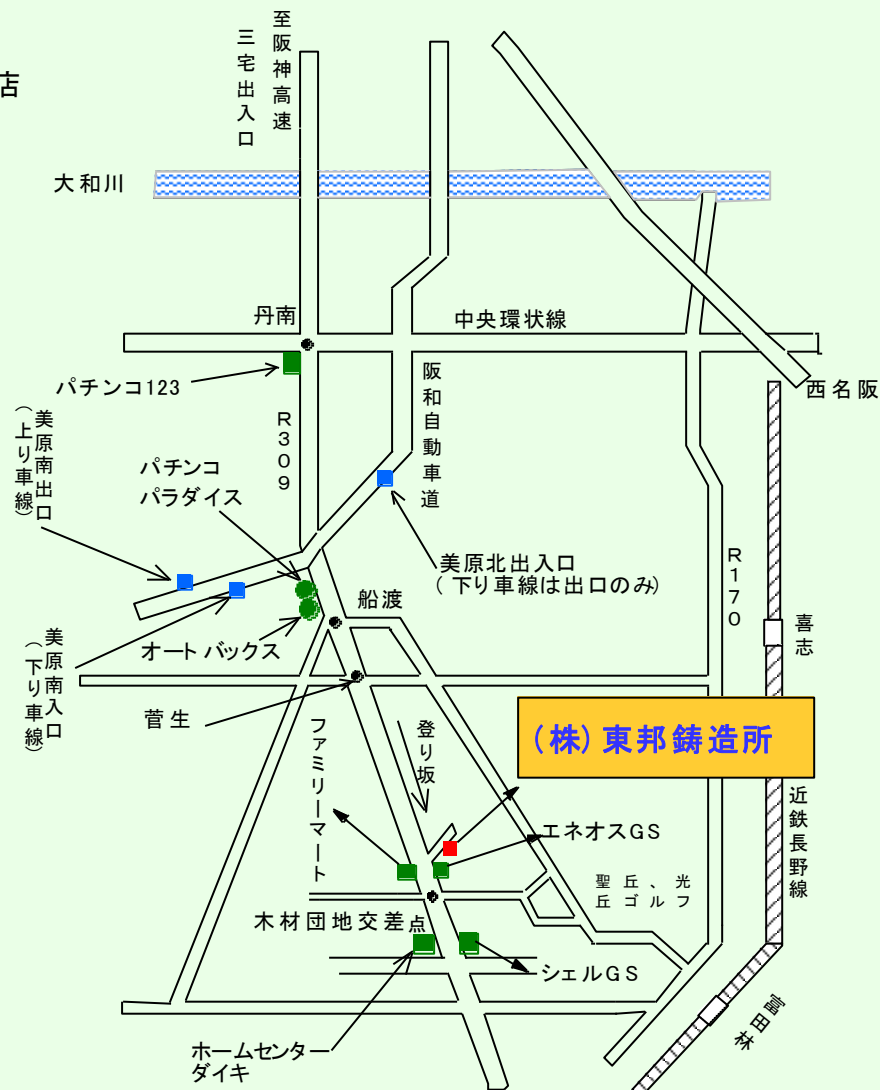


株式会社 東邦鋳造所
〒587-0042 大阪府堺市美原区木材通1-7-48
TEL 072-362-3700 FAX 072-361-7814
URL <http://tohoalcast.co.jp/>
mail info@tohoalcast.co.jp

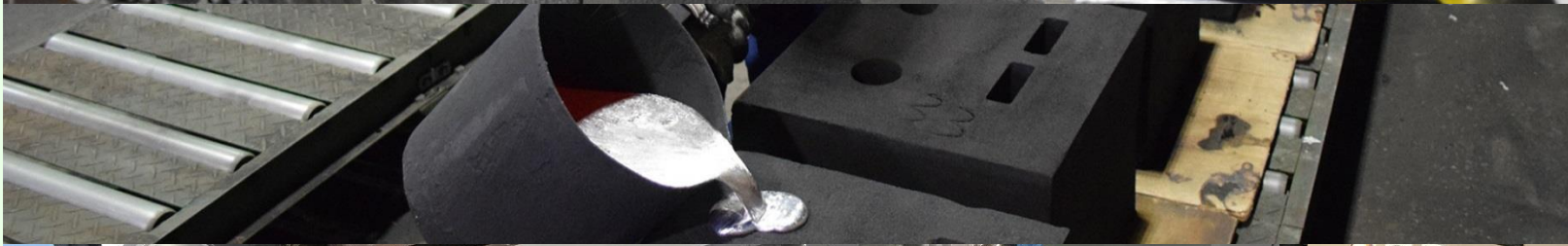
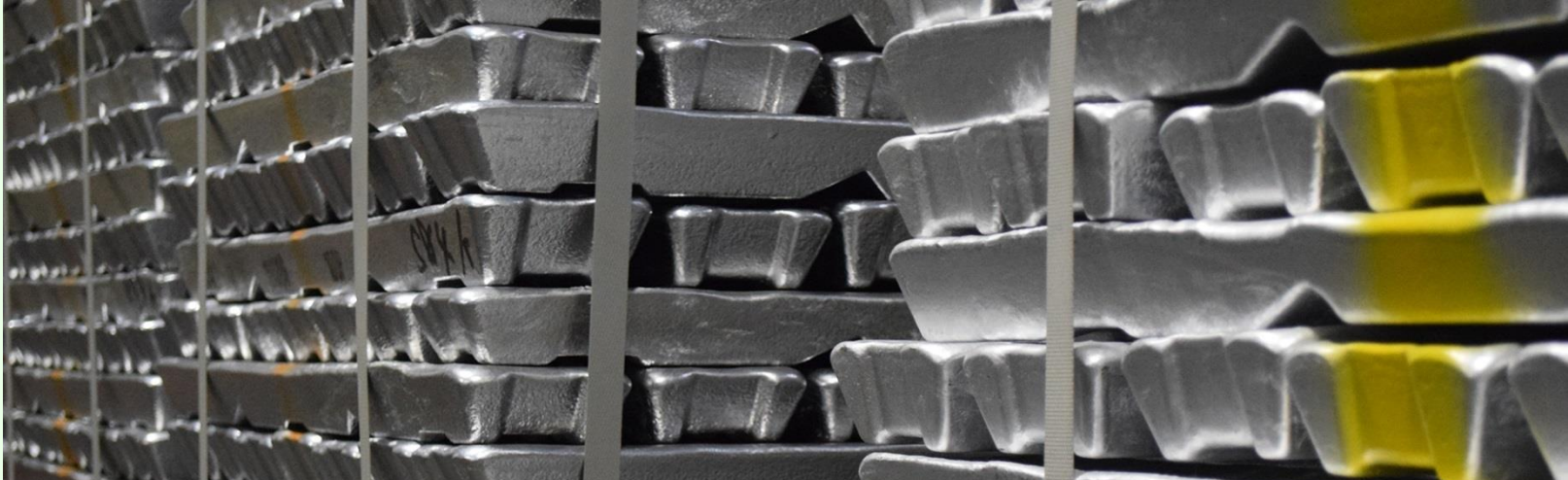
ご挨拶
鋳造とは、形をもたない液体を鋳型に流し込み、凝固させることで、複雑な形状が得られる自由度の最も大きい加工法であり、人類が得た有史以前からの最も古い加工技術であります。技術の著しい進歩と、科学の驚異的な発展を遂げてきた現在においても、この技術は必要不可欠な材料の加工法として受け継がれております。アルミニウムは、汎用金属のなかでも最も新しく、その歴史は100年あまりであります。にもかかわらず、利用度は急速に成長し、今日では鉄鋼に続く使用量であります。当社は、昭和35年に鑄鉄鑄物からアルミニウム合金鑄物に切り替え、今日までアルミニウム専門の鑄物屋として展開してまいりました。中量向けのグラビティー、中物・大物を得意とする自硬性の設備を揃え、さまざまなニーズにお答えできるよう常に努力しております。素形材産業は我が国の発展にとってなくてはならない重要な役割を担っているとの認識をもち、われわれは今後も新しい技術に挑戦してゆきます。

商号 株式会社 東邦鋳造所
設立 昭和35年12月
資本金 10,000,000円
代表取締役 中川寿也
土地・建物 本社工場 敷地1250㎡ 建坪 860㎡
取引銀行 三菱UFJ銀行 松原支店
近畿大阪銀行 富田林支店
三井住友銀行 天下茶屋支店
りそな銀行 金剛支店



ToHo Aluminum Casting

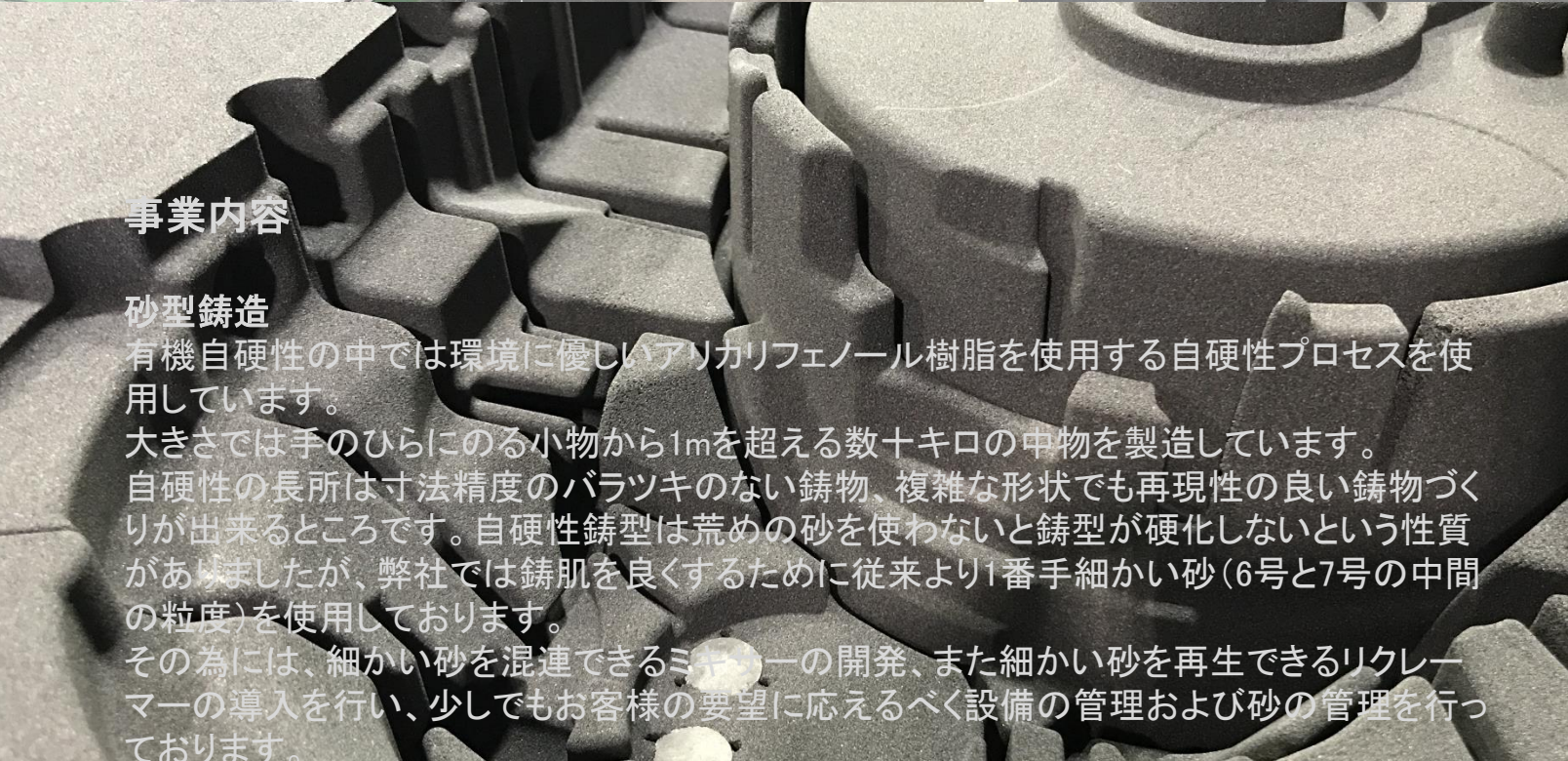
株式会社 東邦鋳造所





形の無い物を、形にするのが私達の仕事です。
我々は、アルミ鋳物をつくり続ける事で社会に貢献してゆきます。

アルミ鋳造の未来は創業60余年の東邦鋳造所からはじまる
国内外の自動車関連事業より試作・量産の実績と信頼



事業内容

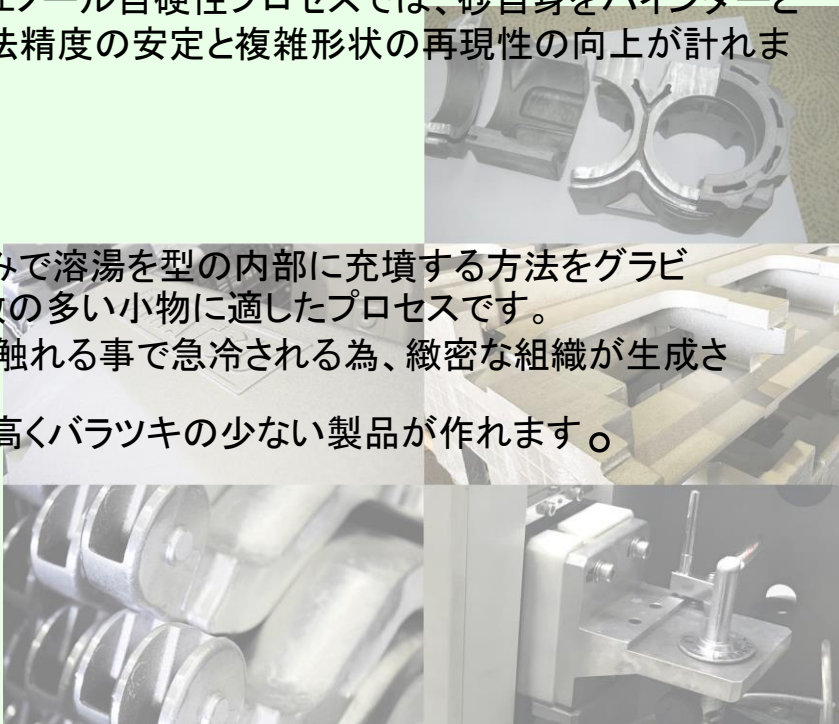
砂型鋳造

有機自硬性の中では環境に優しいアルカリフェノール樹脂を使用する自硬性プロセスを使用しています。
大きさでは手のひらにのる小物から1mを超える数十キロの中物を製造しています。
自硬性の長所は寸法精度のバラツキのない鋳物、複雑な形状でも再現性の良い鋳物づくりが出来ることです。自硬性鋳型は荒めの砂を使わないと鋳型が硬化しないという性質がりましたが、弊社では鋳肌を良くするために従来より1番手細かい砂(6号と7号の中間の粒度)を使用しております。
その為には、細かい砂を混連できるミキサーの開発、また細かい砂を再生できるリクレーマーの導入を行い、少しでもお客様の要望に応えるべく設備の管理および砂の管理を行っております。

従来の砂型鋳物では、寸法精度のバラつきが多く、複雑形状物は砂の強度の問題上、再現性に限界がありました。アルカリフェノール自硬性プロセスでは、砂自身をバインダーと硬化剤により固めるので、鋳型の寸法精度の安定と複雑形状の再現性の向上が計れます。

金型鋳造(グラビティ)

金型鋳造の中でも、アルミの自重のみで溶湯を型の内部に充填する方法をグラビティと呼んでおります。比較的ロット数の多い小物に適したプロセスです。
グラビティでは、アルミ溶湯は金型に触れる事で急冷される為、緻密な組織が生成されます。また砂型と比べ寸法精度が高くバラツキの少ない製品が作れます。



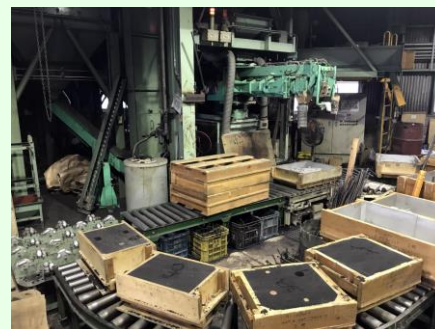
アルカリフェノール自硬性

平成19年3月に設備を一新し、生産能力を増強いたしました。

ミキサー能力	6.3t/時間
砂再生能力	1.5t/時間
砂保有量	回収タンク 12t 再生タンク 10t+8.5t 合計 30.5t
注湯、冷却ライン	12m×3ライン 6m×1ライン
溶解炉	保持量約 320kg 2基 保持量約 250kg 1基

ミキサーは7号珪砂を混練できるタイプに更新。鋳肌向上を計っております。

環境面及び砂管理の面から集塵機能力には余裕を持たせ、回収系と再生系それぞれ1基ずつ設置しております。



グラビティ鋳造機

グラビティ鋳造機(傾斜式)(金型鋳造機)

金型取付最大幅: 750mm 1台

金型取付最大幅: 850mm 1台

グラビティ鋳造機(垂直割)(金型鋳造機) 1台

溶解炉は鋳造機(傾斜式)1台に1基設置しております。溶解保持量は約300kg

